



政治信条

地域に

# 真っ直ぐな政治



聞く

動く

伝える

重要テーマ

1次産業の振興 安心安全な地域づくり

地域医療・福祉の充実 新産業の育成

観光産業による地域活性化

## 聞く・動く・伝える

- 聞く…私たちの地域に住む、働く人の思いを直接聞いて政治活動に活かします。
- 動く…皆さん声を受け止め県政に訴え問題解決のために誠意をもって行動します。
- 伝える…地域の声は県政へ、県からの声は皆さんへ私が必ず伝えます。

《発行》ふくし直治事務所

〒030-1502 青森県東津軽郡今別町大字今別中沢163-1

## 福士 直治 プロフィール

学歴 平成元年 青森県立青森北高等学校 (20回生)  
平成5年 東北工業大学土木工学科卒業 (23回生)

議員歴 平成21年10月～31年3月 今別町町議会議員3期  
平成31年4月青森県議会議員 初当選

家族構成 妻と子供2人

## ごあいさつ

日頃、私の政治活動に対しご理解ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

早いもので3月定例議会も終わり、県議会議員になって早1年が経とうとしています。月並みですがあっという間の1年でした。

できるかぎり地域の皆様の声を届けるために東津軽郡全域を回りたいと思うのですがなかなか時間が取れず、1月に今別地区・蟹田地区・平内地区の3か所で県政報告会を開催させていただき、皆さんと話す機会としました。これからも地域に根差した政治活動をしていきたいと思っておりますので変わらぬご指導をよろしくお願いいたします。

青森県議会議員 福士 直治

## 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) について

今回の新型コロナウイルス感染症で亡くなられた方々にお悔やみ申し上げると共に、影響を受けた方々の一日も早い回復と、感染の早期終息を心よりお祈りいたします。

また、医療の最前線で新型コロナウイルス感染症に立ち向かう医師や看護師をはじめとする医療従事者の皆さまには、衷心より敬意と感謝を申し上げます。いまだ全世界で猛威を振るっているコロナウイルス感染症ではありますが、私達の住む青森県は感染拡大も一段落し日常を取り戻しつつあります。

しかし、ここで気を緩めるとコロナウイルス感染症第2波も懸念されますので、今後も手洗いうがいなどの感染対策をしていただき、平穏な日常を守る努力をお願いしたいと思います。私は自分のできることを地域の目線で活動していきたいと考えます。





今回は前回掲載できなかった「安全安心な地域づくり」についての質問内容を載せたいと思います。

## 県議会での提言（その2）

### ①東青地域における道路整備について



**Q質問1** 北海道新幹線開業から3年が経過し、奥津軽いまべつ駅には更なる交通機能の強化が必要ではないか？

**A答弁1** 冬期の安全確保のため、小国峠区間で老朽化した散水消雪施設の更新工事を実施した。また、国道280号バイパスの整備を順次進めており、残り1km区間においても用地買収を進め早期の全線供用に努める。

### ②ドクターヘリの運航について

**Q質問1** 救命救急センターまで距離の遠い上磯地区では、ドクターヘリのメリットが大きいが、運航実績は？

**A答弁1** 人口1,000人当たり出動件数を直近3年間で比較すると県全体で0.5件に対し上磯地区では3.3件と出動件数が多い地域となっており効果的に活用されていると考えている。

**Q質問2** 速やかな搬送には、着陸場所の確保が重要と考えるが取り組みは？

**A答弁2** 安全に離着陸でき救急隊・患者と合流する地点の確保が重要であり、年々登録個所を増やしている。現在県内743カ所確保しているが今後も地域の協力を得ながら増やしていきたい。



## 第301回定例会 予算特別委員会

### ①「青森県型地域共生社会」地域機能強化推進事業の取組みについて

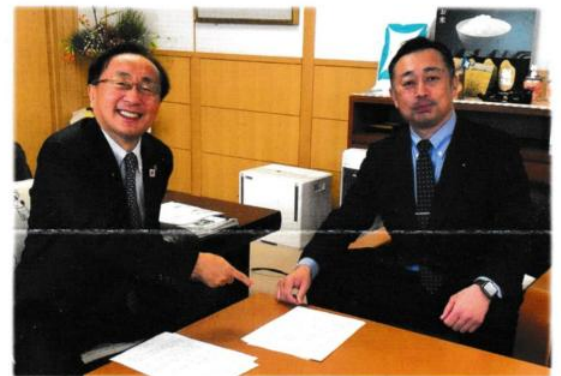
**Q質問1** 「県民誰もが地域で生まれ、地域で育ち、地域を助け、地域で安心して老後を迎えることのできる地域共生社会の実現」に向けた取組みについて何う。

**A答弁1** 地域住民や社会福祉法人、地域経営体等と連携・支援をしてその地域に必要な生活サービスの持続的な提供を支援していく。先行事例として外ヶ浜町「上小国ファーム」、中泊町「ピュア」の取組みがあり、県全体に波及させていきたい。

### ② 地域交通ネットワークの維持について

**Q質問1** 市町村が運営している地域交通は維持費負担が拡大しており維持・再構築への支援が必要と考えるが県の取組みは？

**A答弁1** 通学通勤での利用促進を進めるとともに、広域的・幹線的バス路線の運行経路見直し、乗り継ぎ改善等により運航の効率化、利便性の向上を図る。交通不便地域での予約型乗合タクシーの導入の事業補助や勉強会も行っている。



## 要望

外ヶ浜町では三厩地区が飛び地となっており、外ヶ浜町営バスが今別町内を通行していくが素通りしていく。同じ路線を今別町でも町営バスを運行させているので両町が協力できれば経費削減や利便性の向上が図られると考えますので、県としても一歩踏み込んだ支援をお願いしたい。

### ③ 生活品質向上に向けた新型輸送サービス(MaaS)の導入について

**Q質問1** 地域公共交通はサービス水準の低下が懸念されており、その打開策としてインターネットを使った新型輸送サービス(MaaS)が注目されているが、本県の取組内容は？

**A答弁1** ITを活用し、鉄道・バス・タクシー等交通サービスを統合し、スマートフォンアプリでルート検索・予約・決済ができ、地域住民の日常生活における移動の利便性が確保できる支援サービスとして注目している。人口規模、生活交通の状況、病院及び商店街等の買い物拠点の立地状況等を踏まえ地域の特性に合った検討をしていきたい。





### ③青森県型地域共生社会について



**Q質問1** 地域の生活を守るために必要な生活支援サービスの持続に向けた取り組みは？

**A答弁1** 地域の多様化する福祉ニーズの対応に加えて、買い物や食事、交通、見守りなどの生活支援サービスを持続可能な形で提供できる体制の構築が重要と考え、高齢農家向け集荷サービスや見守りを兼ねた受注宅配サービス等県内の先進事例を紹介し、地域と連携した取り組みをこれからも発展させていきたい。

**Q質問2** 生活必需品の購入にも不便を感じている買い物弱者支援をどう考えるか。

**A答弁2** 買い物支援における県内外の取り組みを調査し、事業モデルの検証、普及に努めています。これからも実証事業の成果も踏まえ、地域主体の取組みを支援していきたい。

### ④若者のU・Jターンについて

**Q質問1** 本県は18歳、20歳、22歳での進学就職による県外転出が多く、人口減少の大きな要因となっている。就職促進の取組みは？

**A答弁1** 県外の大学との連携強化に努め、学生や保護者へ県内企業の情報提供や校内での情報交換会の開催、学生の県内企業インターンシップ受け入れ支援等によって、青森で働くこと暮らすことについて理解を深めてもらう取り組みをしている。今後も本県出身学生の還流を推進していきたい。



### ④ あおもり超スマート社会形成推進事業の取組みについて

**Q質問1** AIやIoT等最新技術を使い少子高齢化や地域格差等の課題を克服するための取組みは？

**A答弁1** 労働力不足対策として、物や空間などを共有・交換するシェアリングエコノミーの考え方を活用した人材マッチングビジネスの実証や導入への取組みをしている。最新技術をあらゆる産業や社会生活に活用し、経済発展と社会的課題解決の実現に向け地域産業のイノベーションを推進していきたい。

### ⑤ 酪農・肉用牛の次世代担い手確保・育成事業について

**Q質問1** 後継者不足や生産者の高齢化が進行しているが、担い手確保に向けた県の取組みについて伺う。

**A答弁1** 農業高校生を対象に肉用牛の体型審査を学ぶ機会や、和牛甲子園の成績優秀校に派遣し実地研修を行っている。小中学生には出前授業や先進農場の見学会を実施し畜産への理解醸成に努めている。来年度からは大学生向けインターンシップの実施、若手後継者や新規就農者向けに飼育技術研修会、経営の個別相談会の開催、情報交換ネットワークの構築に取り組んでいく。



### ⑦ 小型イカ釣り漁業の経営安定推進事業について

**Q質問1** 不漁が続くイカ釣り漁業者の経営安定は急務だと考えるが県の取組みを伺う。

**A答弁1** 関係漁協と協力し、アンケートによる実態調査や、経営の安定している漁業者への聞き取り等で経営実態を把握し、漁業者の安定経営につなげていきたい。またスマートフォンで漁獲情報等が共有できる「ICTスルメイカ漁獲情報管理システム」の活用による操業の効率化を図る。

### ⑧ 元気な地域づくり支援事業費補助について

**Q質問1** 市町村の地域づくりの取組みを補助する事業だが、地域にどのような効果を期待しているか伺う。

**A答弁1** 本事業は地域を支える人材の育成、地域の産業振興、雇用創出、コミュニティ活動の再生等地域力の向上、健康で安心して暮らせる環境づくり等、市町村が取り組む地域特性を活かした地域づくりを支援するため、市町村が提案する事業に対し県が補助するものです。市町村の自発的な地域づくりや主体的な取組みが促進され産業地域振興や地方創生につながることを期待しています。





## ○主要地方道今別蟹田線（県道14号）小国峠の道路整備について

今別・三厩地域で生活をしている多くの方々が、買物・通勤・通院等で小国峠を暮らしに欠かせない生活道路として利用しています。散水融雪施設のない時代、冬期間は本当に危険な道路でしたが平成9年から地下水による散水融雪が行われ、県としても交通の難所である小国峠の交通安全対策に努力をしてきました。しかし、現在では設備の老朽化、毎年起きる交通事故、維持管理費用の増大等が大きな問題となっています。私はこの問題解決が地域発展に大きく貢献できると考え、「平坦で安全な道路にしてほしい」という地域の切実な思いを県に伝える努力を続けています。

### ① 令和1年9月30日 第299回青森県議会定例会にて一般質問

「東青地域の道路整備について」と題し、小国峠の現状、地域に暮らす皆さんの思い、改修の必要性を県へ訴えることができました。県の回答は「現状維持に努める」「維持費は毎年2600万円程度、次年度もポンプ2基の更新で約2600万円を見込んでいる」「改良については莫大な費用になるため現状難しい」でありましたが、私は地域住民の悲願であるのでこれからも継続的に訴えていくと締めくくりました



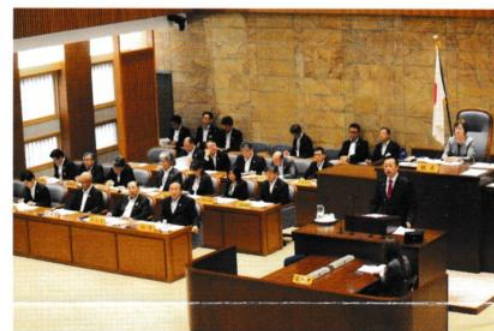
### ② 令和1年12月18日 今別蟹田線（県道14号）小国峠にて現地視察

青森県・今別町合同での小国峠の現地視察を実施しました。大平方面から津軽線と並行する砂川林道と小国峠の現状調査を行い、谷状地形を利用した私案をもとに説明させていただきました。過去の資料を探しても小国峠の道路整備については、これまで1度も現地調査されたことはなく、今回の現地視察は大きな一歩となりました。

### ③ 令和2年1月29日 小国峠の道路整備について

#### 青森県県土整備部長に要望書提出

昨年の現地視察から前進し今回は、今別町・外ヶ浜町連名で「小国峠の安全な道路を確保するため、平坦化の整備と当面の冬期間における凍結区間の解消について」要望書を県に提出することが出来ました。これも初要望となります。県では具体的ルートの検討継続、現在の消雪施設の安全対策と管理の更なる努力をするという事でした。



### ④ 今後の取組み

今後も継続的に「今別蟹田線（県道14号）小国峠の道路整備」について取り上げ、今年度は今別町・外ヶ浜町の両議会議員の方々とも意見交換や要望活動を行い、地域の悲願達成まで更なる努力を重ねていきたいと思ひます。

## 編集後記

第2回の発行となりましたが、今回は「今別蟹田線（県道14号）小国峠の道路整備」について大きく取り上げることにしました。地元では長年の懸案でありましたが、ほとんど問題解決に向けた取り組みがされていないことに驚きました。これからは東津軽郡各地域の声に耳を傾け、地道に県政に地域の想いを届けていきたいと思ひを強くしました。これからは様々なご意見をお待ちしています。

